



2021年12月15日

各位

会社名 株式会社 ソケッツ
代表者名 代表取締役社長 浦部 浩司
(コード:3634、東証第二部)
問合せ先 コーポレート マネジメント 室 吉野 裕規
(TEL. 03-5785-5518)

新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書

当社は、2022年4月に予定されている株式会社東京証券取引所の市場区分の見直しに関して、本日スタンダード市場を選択する申請書を提出いたしました。当社は、移行基準日時点(2021年6月30日)において、当該市場の上場維持基準をみなしていないことから、下記のとおり、新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の移行基準日時点におけるスタンダード市場の上場維持基準の適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」について基準を充たしておりません。当社は「流通株式時価総額」に関して、2023年度中に上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (百万円)	流通株式比率 (%)
当社の状況 (移行基準日時点)	567	10,246	910	41.3
上場維持基準	400	2,000	1,000	25
計画書に記載の項目			○	

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

スタンダード市場上場維持基準の充足に向けた「流通株式時価総額」の向上にかかる当社の取組内容については、添付の「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以上

新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021 / 12 / 15 (水)

■ 適合状況

当社の移行基準日（2021年6月30日）におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況は「流通株式時価総額」については基準を充たしておりません。

	スタンダード市場 上場維持基準	当社の数値	判定
流通株式時価総額	1,000百万円	910百万円	×
株主数	400人	567人	○
流通株式数	2,000単位	10,246単位	○
流通株式比率	25%	41%	○

■ 計画期間

上場維持基準を充たすための計画期間を、2023年3月期末とし、本書記載の各種取組を進めてまいります。

■ 課題

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値を向上させるとともに、株式市場での適正な評価を得ること、また、株主数の増加、流通株式比率を高めることが重要な課題と捉えております。時価総額20億円前後という現在の株価水準、即ち企業価値を向上させることが必要という認識であります。

■ 課題の要因

当社は、過去5年間において、開発・運用による売上を上げる会社から、自社のデータ技術を活用したライセンスにより売上を上げる会社への事業構造の変革を進めてまいりました。その結果、2016年3月期と比較し、2021年3月期においては、粗利率24%から47%、ライセンス取引数が10ライセンスから43ライセンス、全社売上に占めるライセンス売上比率は21%から66%と、事業構造の変革は、いったん完了しました。

しかしながら、一方で、年間およそ3億円の先行投資を継続するなか、2021年3月期（前期）において営業損失を計上し、また、2022年3月期（当期）においても、年間3億円程の研究開発や新規サービスへの投資のため営業損失の業績見通しであり、結果的に2期連続での営業損失を見込んでおります。

現在の株価水準は、現在のこのような業績に要因があると認識しております。

また、戦略的な関係構築かつ安定株主の確保を目的とした事業法人および金融機関の保有株式により、流通比率が下がっております。あわせて個人株主に向けたコミュニケーションもより積極的に行なう必要があると認識しております。

■ 取組の基本方針

当社は、企業価値の向上・流通株式数の増加・株主数の増加に取り組んでまいります。

<取組内容>

流通株式時価総額の構成要素は、「時価総額」及び「流通株式比率」となりますので、それぞれに取組を進めてまいります。

① 企業価値の向上

当社は、独自技術の感性AIを活用し企業価値の向上を目指してまいります。

② 流通株式数の増加

取引先との協力関係を強固なものにすべく、また、安定株主の確保を目的とした事業法人および金融機関の保有株式につきまして、今後当社株式の流通性を高めることを目的とし、当該株式につきましてし、保有割合を2021年3月末時点の26%から16%程度とすることを目標とし、当社株式の株価への影響に配慮した方法によることを要請しつつ協議を進めてまいります。

③ 株主数の増加

戦略的関係構築かつ安定株主の確保を目的とした事業法人および金融機関の保有株式売却と並行して、新たな個人投資家の増加を目指し、IR活動の推進や強化を進めてまいります。

- 1) 個人投資家への新規アプローチや既存株主への情報発信の強化のため、IR情報のメール配信サービスやSNS（Twitter）の利用を開始いたしました。
- 2) 今後オンラインでの個人投資家向け説明会の開催を実施し、当社の取り組みや事業内容を通して、幅広い投資家の認知度向上を図ってまいります。

① 企業価値の向上について

独自技術 感性AI 活用した事業推進

1) 現在の主力事業の成長

エンターテインメント分野向けのレコメンドエンジン・感性メタデータ提供
国内音楽・映像系 全36サービスに向け提供中
ここまで音楽中心であったが、前期より映像・アニメ向けデータサービスが
伸長中

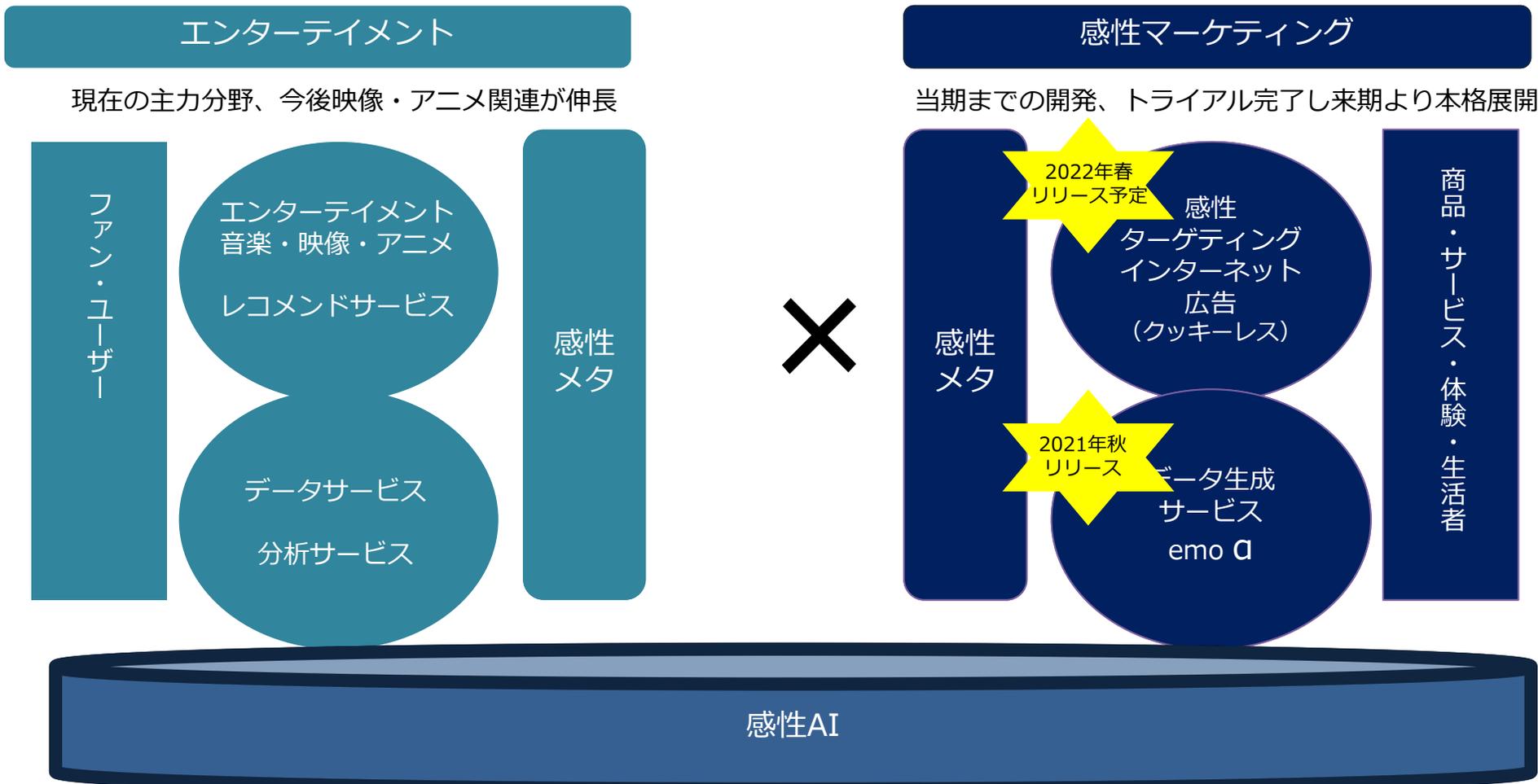
2) ここから加わる新事業(1)

ポストクッキー時代に向けた感性にターゲティングするインターネット広告サービス
今期までの開発・実証を経て、来期に事業化予定

3) ここから加わる新事業(2)

消費者との共感をつなぐ感性メタ生成サービス
従来エンターテインメント分野に提供していた感性メタデータを、美容、ファッション、
食、旅行、暮らし全般の多種多様な企業・ブランド・サービスに提供開始
当期より感性メタデータ生成サービス「emo a」を提供

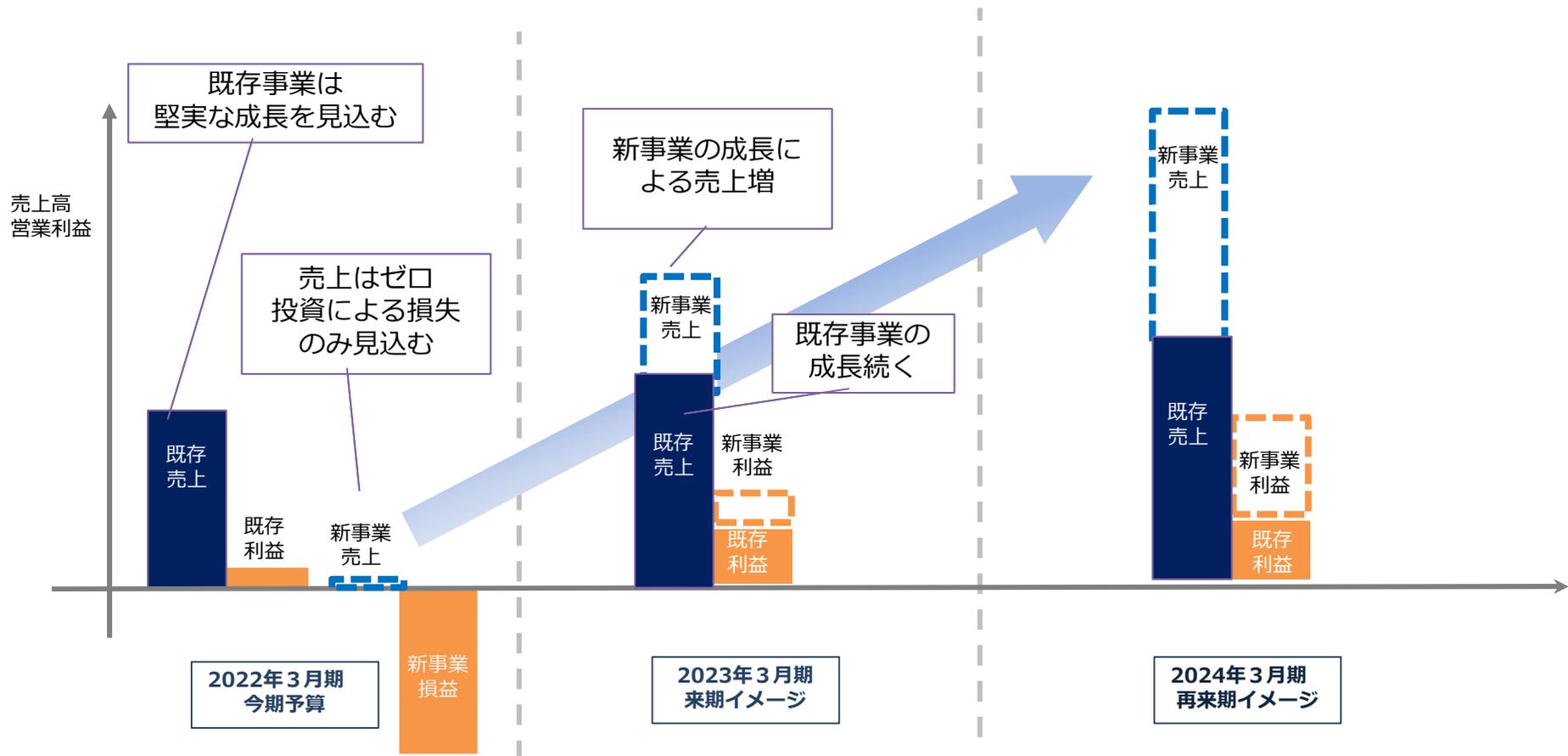
- step 1) 創業来のエンターテイメント分野のデータサービスにおいて独自の事業基盤を構築
- step 2) エンターテイメントで培った感性・感情を解釈する技術をマーケティング分野に応用へ
- step 3) 感性AIを活用したエンターテイメント×感性マーケティングという独自サービスの展開へ



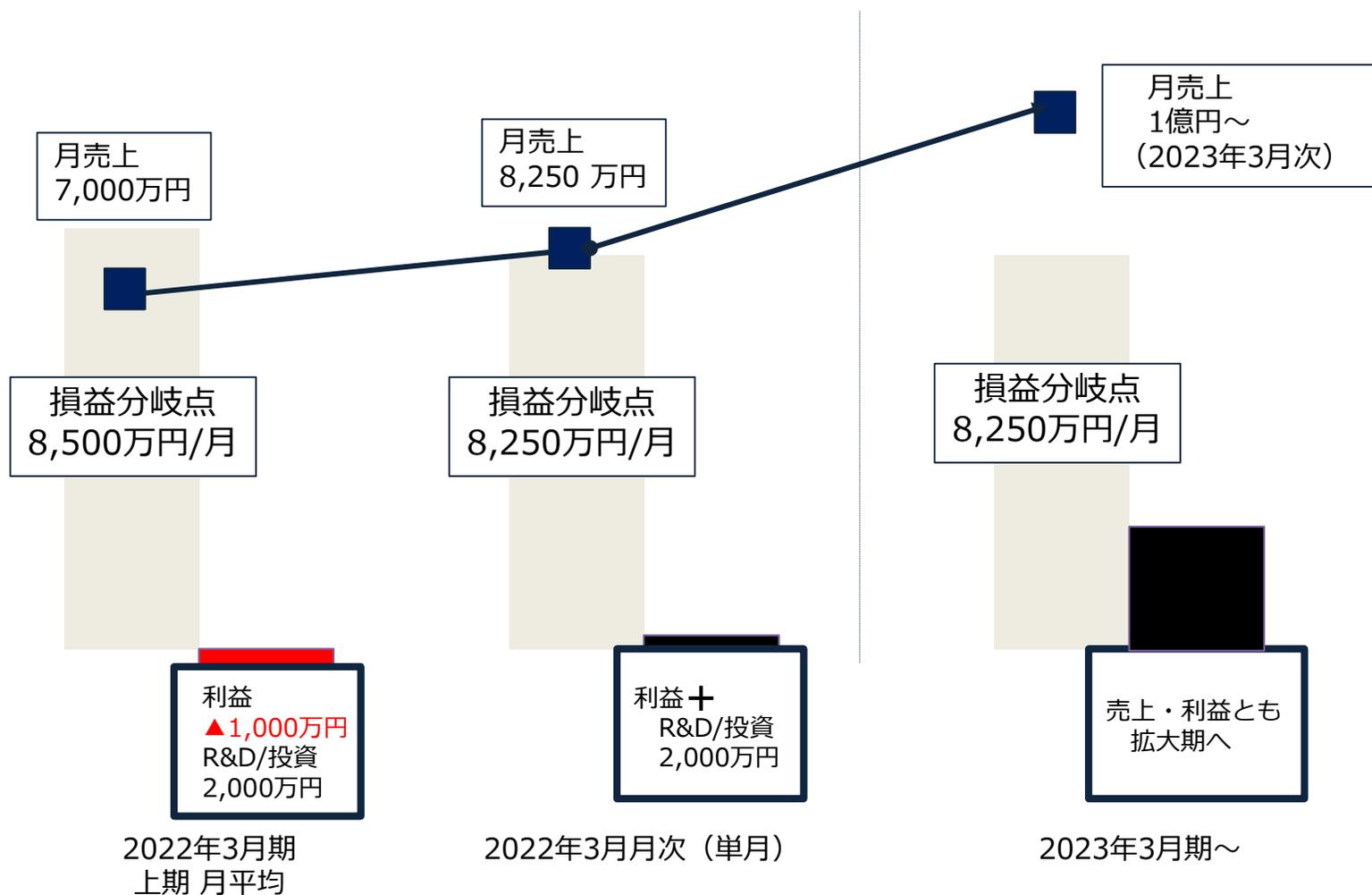
Step1) 既存事業は当期下期より映像・アニメ関連を中心に成長スピード向上へ

Step2) 2022年3月期（当期）新事業の売上は見込まず投資に集中(赤字計上)

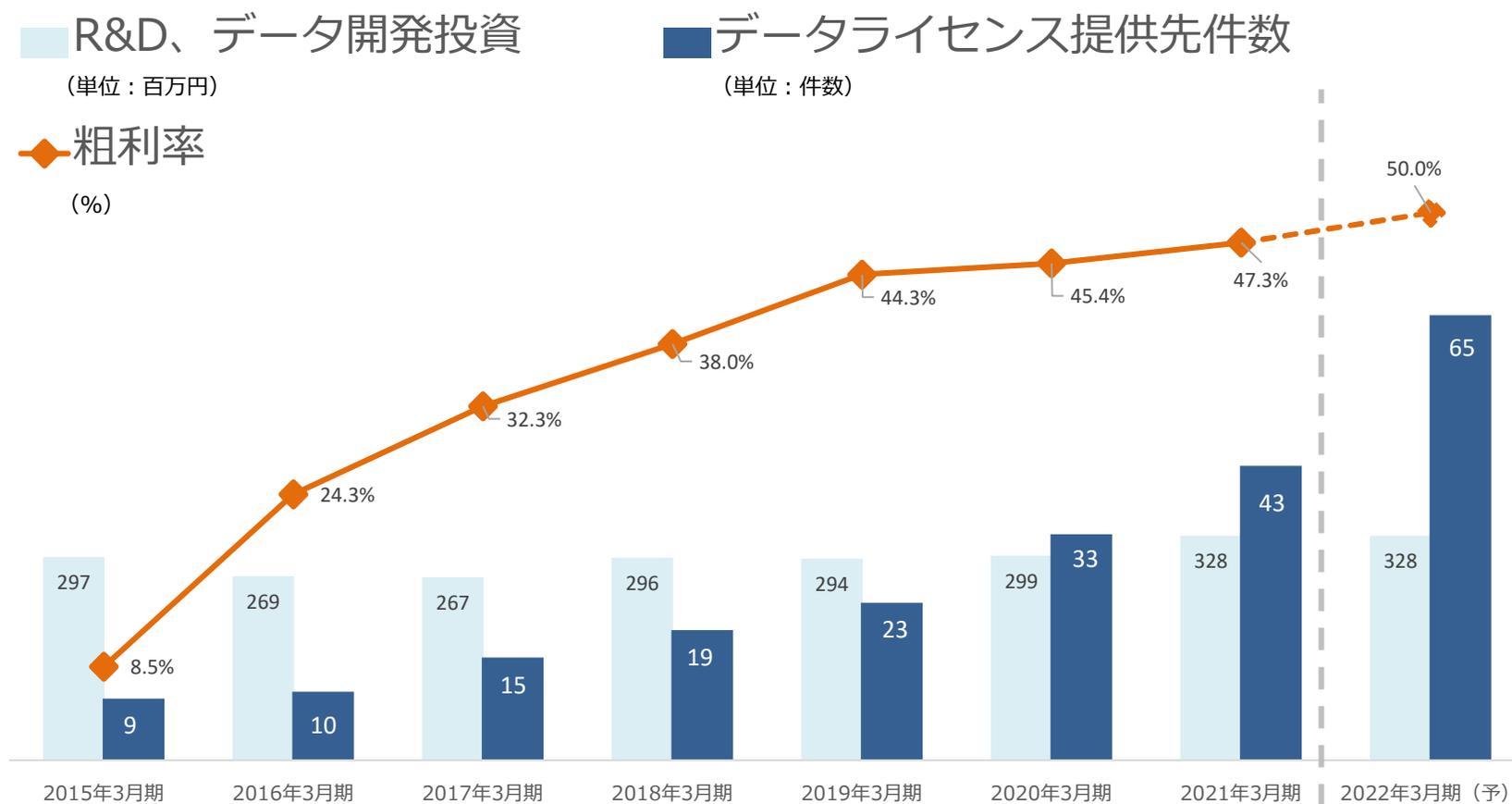
Step3) 2023年3月期（来期）新事業の立ち上がり、既存事業の成長と合わせ事業拡大期へ移行



積極的な投資を含めても、2022年3月次に単月黒字化し、2023年3月期を事業拡大期へ



✓ 継続した研究開発・データ開発の投資を実施（年間約3億円）



② 流通株式数の増加について

現在の大株主（上位5名）

株主名	所有株式数
浦部 浩司	708,400 株
カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社	240,000 株
KDDI株式会社	240,000 株
株式会社フェイス	145,000 株
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	103,700 株

今後大株主との戦略的かつ友好関係を前提のうえ、一部の保有株式を機動的に流動化することも検討いたします

	スタンダード市場 上場維持基準	当社の数値	判定
流通株式時価総額	1,000百万円	910百万円	×
株主数	400人	567人	○
流通株式数	2,000単位	10,246単位	○
流通株式比率	25%	41%	○

1) 企業価値の向上

独自の感性AIによる他に類のないエンターテインメント×感性マーケティング事業の推進

2) 流通株式数の増加

大株主の保有株式の流動化の検討

3) 株主数の増加



以上の取り組みにより、流通株式時価総額の未達分を満たしてまいります

本資料における予想数値等は、発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

株式会社ソケット

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四丁目23番5号

窓口：コーポレートマネジメント室

Tel : 03-5785-5518 Fax : 03-5785-5517

E-mail : ir@sockets.co.jp